

## 四日市版コミュニティスクール報告書（令和3年度総括）

四日市市立海蔵小学校

校長 森田 久

### 1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

「誠実」「規律」「勤勉」をもとにした学校づくりビジョン「共に生きる力をはぐくむ」の達成に向けて、教職員の研鑽と協働、家庭・地域との連携をしながら、取組を進め、誠実、規律、勤勉といった目指す子どもの姿の具現化していきます。

### 2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1)年間5回のうちの4回(1回は感染拡大防止のため中止)の運営協議会と主な協議内容

第1回運営協議会（5月18日中止）

第2回運営協議会（7月1日）(写真1)

- ・校内巡回(授業参観)
- ・令和3年度学校ビジョンについて
- ・子どもたちの様子について懇談  
ICT機器の活用状況など
- ・令和3年度転任職員紹介(動画)



写真1 第2回の様子

第3回運営協議会（10月8日）(写真2)

- ・校内巡回(授業参観)
- ・オンライン学習中時の授業の様子について  
(オンライン学習を動画で撮影したものを紹介)
- ・学校指定物品について
- ・教育活動アンケートについて  
Google フォーム体験



写真2 オンライン学習 様子紹介

第4回運営協議会（11月12日）

- ・学校の様子について(写真3)  
(修学旅行、海蔵っ子走ろう会に向けて)
- ・運営委員の道徳授業参加
- ・授業に参加いただいた意見・感想交換  
実際に児童とともに道徳の授業に参加して  
いただき発言していただいたり、感想を述べて  
いただいたりした。



写真3 道徳授業参加の様子

#### 第5回運営協議会（2月16日）（写真4）

- ・本年度のふりかえり(保護者・児童アンケートの分析)
- ・学校関係者評価記入・協議
- ・次年度について(年間計画・次年度委員等)
- ・教職員との懇談会(サイコロトークング)



写真4 教職員との懇談会

#### (2)委員の方々の所属団体における活動

##### ①地域の見守り（写真5）

PTA、海蔵セフティネット協議会、学校の三者で、子どもたちの見守りや登下校指導を行ってきました。特に、海蔵セフティネット協議会の方々には、子どもたちの安全安心な生活が保てるよう日常的に地域で見守っていただいています。

昨年度より、引き続き下校パトロールも行っていただきました。入学式前には、入学児童に向けての入学前の登校練習の機会を作っていたり、通学路の安全点検にも協力いただいたりしています。



写真5 登校の見守り

##### ②人権教室（写真6）

思いやりの心を大切にすることや差別や偏見をなくし、人と人がつながり合うことのすばらしさを子どもたちに伝えるという目的で、2年：男女平等教育「ジェンダーに気付こう」、4年：いじめをなくすために「プレゼント」、6年：障がいのある人の人権を考える「桃色のクレヨン」という内容で、12学級で授業をしてもらいました。



写真6 人権教室

#### (3)教育活動への支援・学校環境構築のための支援

##### ① 地域で活動芸能（写真7）

クラブ活動では、太鼓クラブの活動の支援を受けました。子どもたちは専門的な技術指導を受け、興味を持って意欲的に活動しています。本年度は残念ながら、成果を発表集会で披露することができませんでしたが、中には日曜日の太鼓団体自体の練習日に自主的に参加し、意欲的な子どもの姿が見られました。



写真7 太鼓クラブの支援

##### ② 来入児保護者へのかかわり

新1年生の不安な気持ちを軽減するためには、保護者がどのように子どもを理解し、関わっていくのがポイントになります。そこで、来入児の保護者の皆さんに対しては、就学時健診時を利用して、児童期における子どもへの理解やつきあい方について、主任児童委員にエンカウンターを交えて話をさせていただいています。今年で8年目となりました。

### ③ 4年生の図工での指導（写真8）

委員の方が講師となり、今年は4年生で木材を利用した図工「ギョギョクリエーター」の指導をしていただきました。のこぎりをを使った木の切り方を丁寧に教えていただきました。完成後、作った作品を見合いました。



写真8 図工での指導の様子

## 3 今後に向けて

本年度も、学校運営協議の場で検討・協議いただいた評価・意見は直ちに教員と共有し、改善につなげてきました。

特に、感染拡大状況下でのオンライン学習やICT機器を活用した学習といった情報活用能力の向上についての取り組みについて、教職員への高い評価をいただきました。また、ICT機器使用による子どもたちへの視力・体力の低下についてのご意見もいただき、教職員とも共有し教育活動を進めることができました。

また、登下校の状況についても、「児童が歩道を広がって歩いている」「通用門から飛び出すことがある」といった地域の方からのお声をもとに、対応についても協議いただきました。その結果、本年度から海蔵地区セフティネットの方々による下校指導を実施いただくとともに、職員も交代で下校指導を行うこととなりました。

こうした経緯につきましては、保護者・地域にむけて校長室だより・学校HPにより周知いたしました。今後も四日市版コミュニティスクールの仕組みによって、地域・家庭・学校が子どもの育成について共通理解をし、子どもの健全な育成について協働する組織として学校運営を支援していただきたいと考えています。

今後も、学校づくりビジョン推進に向け、地域住民や保護者の皆様のニーズを受け止めるとともに、地域住民・保護者の持つ教育資源をさらに活かしていけるよう、様々な角度からご意見・ご提言をいただけるよう、学校運営協議会の持ち方も工夫したいと考えています。本年度は、本校職員と委員の方々とのコミュニケーションを一層図るため、転任してきた教職員の自己紹介を動画で紹介させていただいたり、教職員とサイコロトークで懇談会をしたりするなど、一層の理解促進に努めました。

こうしたことにより、今後は、さらに連携を深めるとともに、学校からの情報発信も積極的に行うことで、一層充実した活動になるよう考えていきます。